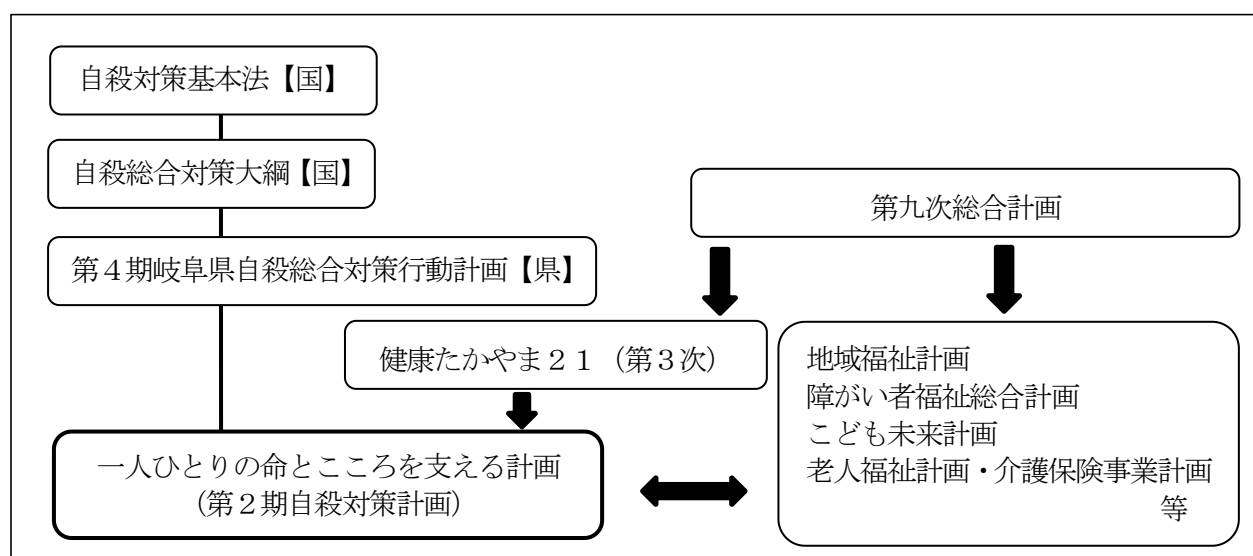


一人ひとりの命とところを支える計画の策定について

1. 計画の位置づけ等

本計画は、自殺対策基本法第13条第2項に基づき、国の自殺総合対策大綱及び第4期岐阜県自殺総合対策行動計画を踏まえ、策定している計画である。

現計画期間（平成31年度から令和6年度まで）の終了に伴い、第九次総合計画を最上位計画として健康たかやま21等の関連計画と整合を図りながら、社会情勢の変化や市民や関係機関・団体からの意見を踏まえ、市民一人ひとりが自殺に関する理解を深め、誰も自殺に追い込まれることのない高山市をめざし、市民や関係機関・団体と市が協働して取り組む計画として、一人ひとりの命とところを支える計画（第2期自殺対策計画）を策定する。



2. 計画の期間

令和7年度～令和11年度（5年間）

3. 取り組みの方向性等

別紙1

参考資料

4. 計画の概要

（1）目指す姿・取り組みの共通認識

別紙2

（2）取り組みの体系

別紙3

5. スケジュール

令和7年 3月 策定、公表

【国の状況】

- ・自殺者数は、依然として毎年2万人を超える水準で推移している。
- ・男性、特に中高年男性が大きな割合を占める状況は続いている一方、女性は3年連続(令和2～4年)で増加した。
- ・小中高生の自殺者数は、近年増加傾向が続き、過去最多の水準となっている。

【県の状況】

- ・自殺者数は、令和2年までは年々減少傾向にあったが、令和3年より増加傾向となり、令和5年には372人と7年ぶりに350人を超えた。
- ・自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、令和2～4年は国を下回っていたが、令和5年は18.8と国より高くなった。
- ・自殺者数の男女別では、男性の割合が高い傾向が続いている。

【自殺総合対策大綱のポイント】(令和4年10月閣議決定)

今後5年間で取り組む施策を新たに位置づけ

1. 子ども・若者の自殺対策の更なる推進・強化

SOSの出し方、精神疾患への正しい理解や適切な対応を含めた心の健康の保持に係る教育の推進、学校の長期休業時の自殺予防強化

2. 女性に対する支援の強化

妊産婦への支援の充実、困難な問題を抱える女性への支援

3. 地域自殺対策の取組強化

地域の関係者のネットワーク構築、支援に必要な情報共有のためのプラットフォームづくりの支援

4. 総合的な自殺対策の更なる推進・強化

孤独・孤立対策等との連携、ゲートキーパー※1の普及、自殺未遂者支援、遺族支援

※1 ゲートキーパー：自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげ、見守る)を図ることができる人のことで、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のこと

【市の現状（自殺統計より）】

- ・令和4年までは、自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は緩やかに下降傾向であったが、令和5年は28.5と増加し、自殺者数は24人と4年ぶりに20人を超えた。自殺死亡率は国や県と比較して高い。
- ・自殺者の男性の割合が女性より高いのは、国や県と同様の傾向である。
- ・自殺者数を性別、年代別に平成31年から令和5年までの5年間の合計で見ると、30歳代・40歳代の男性・70歳代以上の男性が多い。
- ・自殺者の同居の有無をみると、同居人がいる人が8割を超える。
- ・自殺者の職業の状況をみると「有職」が43%、「年金・雇用保険等生活者」が32%と、国・県より割合が高い。
- ・自殺の原因・動機では、「健康問題」の割合が最も高く、国や県と比べて「経済・生活問題」の割合が高い。「家庭問題」の割合は国や県よりも低い。

【現状を踏まえた課題等】

- ・関係機関と連携した取り組みなどにより、令和4年までは、自殺死亡率は緩やかに下降傾向であったが、依然として国や県より高い状況が続いている。
- ・上記の現状からは市の自殺者の傾向や特徴がわかるが、実際には日常の様々な場面で、危機的な心理状態に陥った人の心情や背景は理解されにくく、身近な人であっても自殺を考える人に気づくのは難しい。
- ・8050問題、ヤングケアラー、育児と介護のダブルケア等のように、複雑化・多様化した課題が増加してきており、解決が困難な事例が増加している。
- ・核家族化等により、子育て当事者が周囲のサポートを受けにくくなっており、支援を必要とする妊産婦が増加している。
- ・30歳～40歳代の働く世代の男性に自殺者が多く、職場環境が要因になっていると考えられる。
- ・自殺に至る原因や動機となる「健康問題」「家庭問題」「勤務問題」「経済・生活問題」といった課題については、引き続き地域全体で取り組む必要がある。

上記を踏まえ、下記の取り組みを拡充する。

【取り組みのポイント】

1. 悩んでいる人に気づき、適切な対応ができるゲートキーパーの育成と普及
2. 職域も含めた支援者のスキルアップとメンタルヘルスケア等の支援
3. 属性、世代を問わない包括的な相談支援体制の強化
4. 複雑化・多様化する課題に対して円滑に対応できる体制の整備
5. コロナ禍を機に顕著化した孤独・孤立の問題への対応
6. より安心して出産・子育てができるような相談支援の推進
7. 働き方改革の取り組みや職場のメンタルヘルス等の対応

目指す姿

誰も自殺に追い込まれることのない高山市の実現

互いに認め合い、自己肯定感や信頼できる人間関係を持つことができる社会、危機を回避するための支援がある社会、誰ひとりとして自殺という手段によって命を失うことのない社会の実現を目指すため、次期計画においても、現計画の目指す姿を継承します。

取り組みの共通認識

自殺は、様々な悩みを抱え、心理的に追い込まれた末の行動であることから、市民、関係機関・団体、市などが次のことを共有する中で、次期計画においても、現計画の取り組みの共通認識を継承し、協働して取り組みます。

- 自殺は、個人的な問題としてではなく、社会的な問題として地域全体で取り組むことが重要です。
- 悩みやストレスを感じたら、一人で悩まず、誰かに相談することが重要です。
- 家族や仲間の悩みに気づき、声をかけ、耳を傾け、専門家につなぎ、見守ることが重要です。

第1期計画
基本的な取り組み
(1) ネットワークの強化 ①関係機関・団体などとの連携の推進 ・市と関連団体等との連携 ・地域の見守り体制の強化 (2) 人材の育成 ①適切な対応ができる人材の育成 ・市民や専門職等を対象としたゲートキーパーの育成 ②医療、保健福祉、心理などに関する専門家を目指す学生への支援 ・医療従事者との交流等、専門家を目指す高校生の支援 ・奨学金の貸付けによる、経済的な負担の支援 ③相談員の資質向上 ・各種研修会などを通じた相談員の資質向上 (3) 相談体制の充実 ①相談支援の充実 ・様々な悩みに関する相談体制の充実 ・児童生徒や保護者が相談できる環境の整備 ②自殺未遂者への支援 ・関係機関との連携、精神的ケア及び生活支援について県と連携 ③遭された人への支援 ・自死遺族会についての情報の周知と遭された人への相談支援 (4) 市民への啓発と周知 ①正しい知識の普及啓発 ・こころの健康に関する啓発や、自殺対策の啓発 ②相談先情報の周知 ・ホームページ、リーフレット配布などによる相談先情報の周知 ・メンタルチェックシステムによる相談窓口の周知 ③ゲートキーパーの育成 ・ゲートキーパー育成講座の開催 (5) 命とこころを支える環境づくり ①こころの居場所^{※2}や活躍の機会の創出 ・地域づくり活動や市民活動への支援 ・学校生活に適應することが困難な児童生徒や保護者の支援 ②高齢者が生きがいを持って暮らせる地域づくり ・介護予防教室の開催や長寿会活動の支援 ・高齢者の雇用の促進や生きがいづくり ③自殺対策の視点を持った取り組み ・庁内各部署が、自殺対策の視点を持ち、様々な取り組みを推進



第2期計画 (案)
基本的な取り組み
◎新規 ○拡充 (1) ネットワークの強化 ①関係機関・団体などとの連携の推進 ・市と関連団体等との連携 ・地域の見守り体制の強化 (2) 人材の育成 ①適切な対応ができる人材の育成 ・市民や専門職等を対象としたゲートキーパーの育成 ポイント1 ○職場や地域で悩んでいる人を支えるゲートキーパーの育成 ②医療、保健福祉、心理などに関する専門家を目指す学生への支援 ・医療従事者との交流等、専門家を目指す高校生の支援 ・奨学金の貸付けによる、経済的な負担の支援 ③相談員の資質向上 ・各種研修会などを通じた相談員の資質向上 ○支援者への支援と心のケア ポイント2 (3) 相談体制の充実 ①重層的な支援体制の整備 ◎属性や世代を問わない包括的な相談支援 ポイント3 ◎多機関協働による支援 ポイント4 ②相談支援の充実 ・様々な悩みに関する相談体制の充実 ・児童生徒や保護者が相談できる環境の整備 ③自殺未遂者への支援 ・関係機関との連携、精神的ケア及び生活支援について県と連携 ④遭された人への支援 ・自死遺族会についての情報の周知と遭された人への相談支援 (4) 市民への啓発と周知 ①正しい知識の普及啓発 ・こころの健康に関する啓発や、自殺対策の啓発 ○ゲートキーパーの普及啓発 ポイント1 ②相談先情報の周知 ・ホームページ、リーフレット配布などによる相談先情報の周知 ・メンタルチェックシステムによる相談窓口の周知 (5) 命とこころを支える環境づくり ①こころの居場所^{※2}や活躍の機会の創出 ・地域づくり活動や市民活動への支援 ・学校生活に適應することが困難な児童生徒や保護者への支援 ○自殺対策に資する居場所づくりの推進(孤独・孤立対策) ポイント5 ②高齢者が生きがいを持って暮らせる地域づくり ・介護予防教室の開催や長寿会活動の支援 ・高齢者の雇用の促進や生きがいづくり ③自殺対策の視点を持った取り組み ・庁内各部署が、自殺対策の視点を持ち、様々な取り組みを推進

※2 こころの居場所
その人が、生きいきと輝ける場所や、自分の能力や役割を発揮できる環境

第1期計画
課題別の取り組み
(1) 心身の健康の保持増進 ①心身の健康に問題を抱える人への支援 ・専門家の相談や適切な医療を受けられるよう支援 ・心身の健康に不安のある妊産婦への必要な支援 ②ライフステージに応じた心身の健康の保持増進 ・生活習慣病の発症予防及び重症化予防の支援 ・若年層から自らの健康を守る力をつけるための支援 ・いのちの大切さやこころの健康の保持に関する教育の推進 ・認知症予防等、高齢者の健康づくりの推進 (2) 家庭問題に関する支援 ①子育て、介護などの家庭問題への支援 ・福祉サービス等の利用支援による、社会参加の促進 ・家庭における諸問題や、こどもの発達や悩みに対する支援 ・民生児童委員等、関係機関と連携した支援 ・虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）などに対する支援 (3) 働きやすい環境づくり ①働きやすい環境整備の促進 ・多様な働き方等を実現できる職場づくりのための啓発 ・長時間保育等、働きながら子育てできるサービスの充実 ②労働問題に関する支援 ・相談先の情報提供等、労働者や経営者の相談支援 (4) 経済的な支援の充実 ①生活困窮者の保護 ・生活困窮者に対する必要な保護と支援 ②生活困窮者などの自立への支援 ・福祉サービス総合相談支援センターによる困りごとに合わせた支援 ・ひとり親家庭等への自立への支援 ・若者に対して、社会的・職業的自立の支援 ・国民健康保険料等の負担軽減措置



第2期計画（案）
課題別の取り組み
◎新規 ○拡充 (1) 心身の健康の保持増進 ①心身の健康に問題を抱える人への支援 ・専門家の相談や適切な医療を受けられるよう支援 ○妊娠期から子育て期への伴走型相談支援の推進 ポイント6 ○産後うつ等、リスクが高い妊産婦等への包括的な支援 ポイント6 ②ライフステージに応じた心身の健康の保持増進 ・生活習慣病の発症予防及び重症化予防の支援 ・若年層から自らの健康を守る力をつけるための支援 ・いのちの大切さやこころの健康の保持に関する教育の推進 ・認知症予防等、高齢者の健康づくりの推進 (2) 家庭問題に関する支援 ①子育て、介護などの家庭問題への支援 ・福祉サービス等の利用支援による、社会参加の促進 ・家庭における諸問題や、こどもの発達や悩みに対する支援 ・民生児童委員等、関係機関と連携した支援 ・虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）などに対する支援 ○子育て等に関する必要な情報提供 ポイント6 (3) 働きやすい環境づくり ①働きやすい、働きがいのある環境づくりの促進 ・多様な働き方等を実現できる職場づくりのための啓発 ・長時間保育等、働きながら子育てできるサービスの充実 ○誰もが働きやすい、働きがいのある労働環境の整備 ポイント7 ②労働問題に関する支援 ・相談先の情報提供等、労働者や経営者の相談支援 (4) 経済的な支援の充実 ①生活困窮者の保護 ・生活困窮者に対する必要な保護と支援 ②生活困窮者などの自立への支援 ・福祉サービス総合相談支援センターによる困りごとに合わせた支援 ・ひとり親家庭等への自立への支援 ・若者に対して、社会的・職業的自立の支援 ・国民健康保険料等の負担軽減措置

自殺対策の視点を持った取り組み ・様々な取り組みにおいて、適切な対応をとることができるよう配慮
--

自殺対策の視点を持った取り組み ・様々な取り組みにおいて、適切な対応をとることができるよう配慮
--

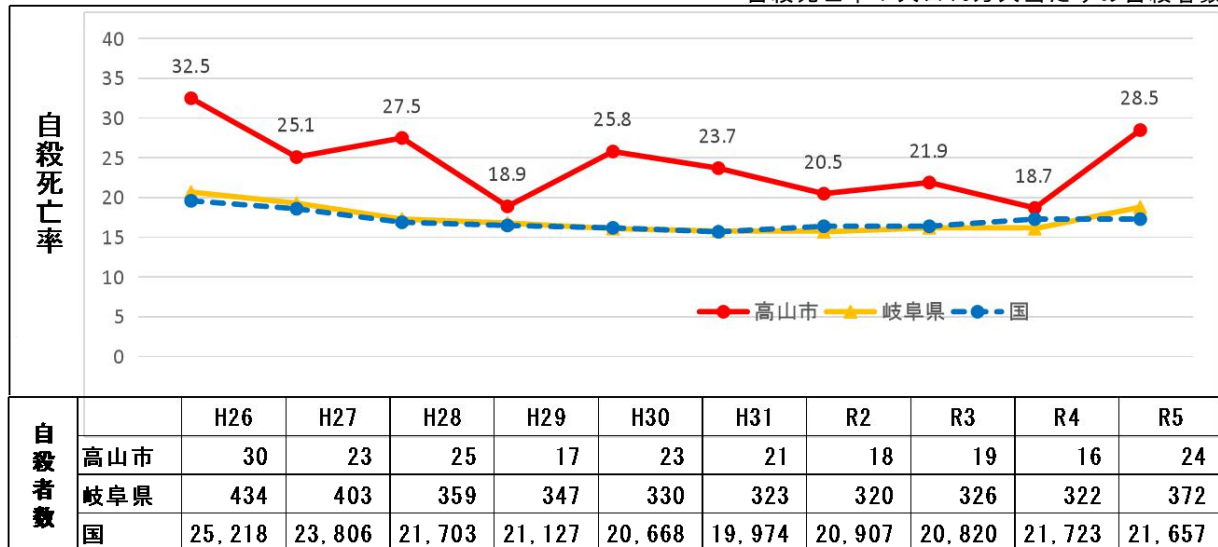
高山市における自殺の現状

参考資料

1. 自殺死亡率と自殺者数の推移

【図1 自殺死亡率と自殺者数の推移】

* 自殺死亡率：人口10万人当たりの自殺者数

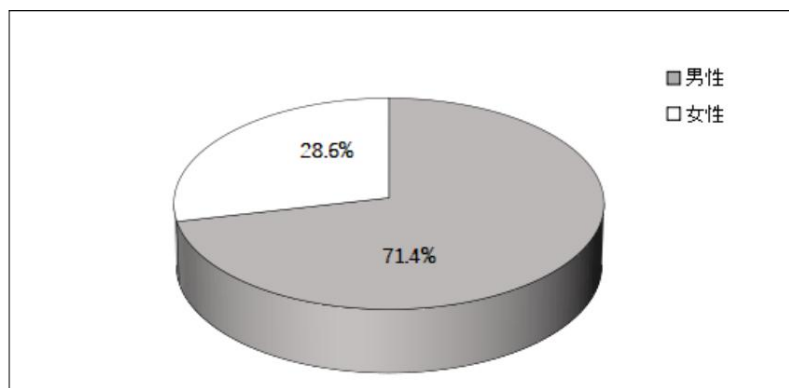


*自殺者数の単位：人

資料：自殺統計

2. 性別の比較

【図2 市における自殺者の性別（H31年～R5年計）】



資料：自殺統計

【表1 国・県・市の自殺者の性別（H31年～R5年計）】

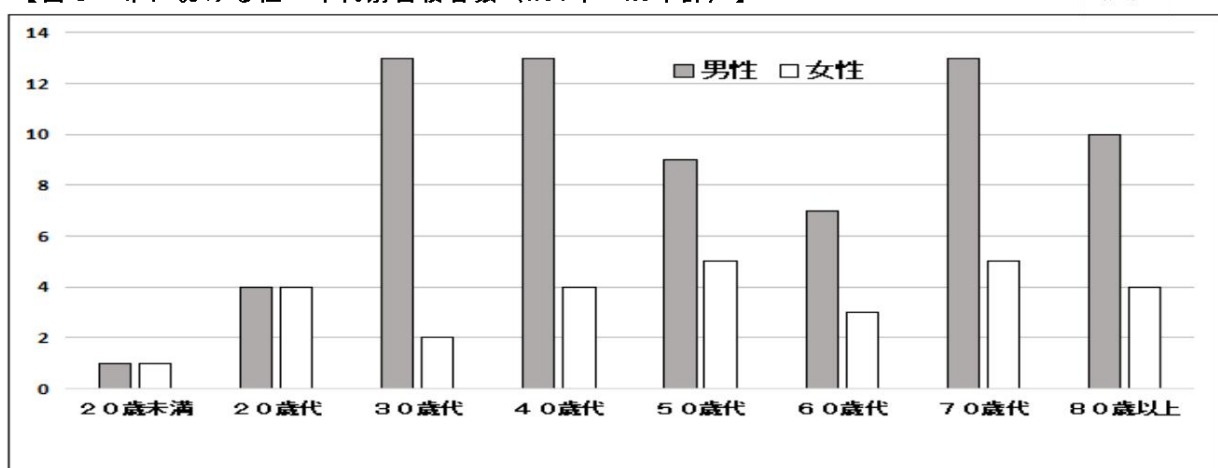
	男性	女性
高山市	71.4%	28.6%
岐阜県	68.6%	31.4%
国	67.5%	32.5%

資料：自殺統計

3. 性別・年代別の比較

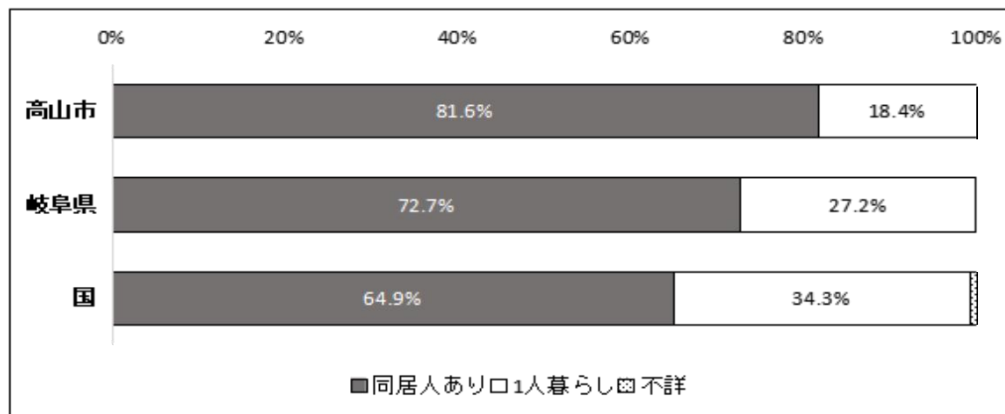
【図3 市における性・年代別自殺者数（H31年～R5年計）】

(人)



4. 同居の有無

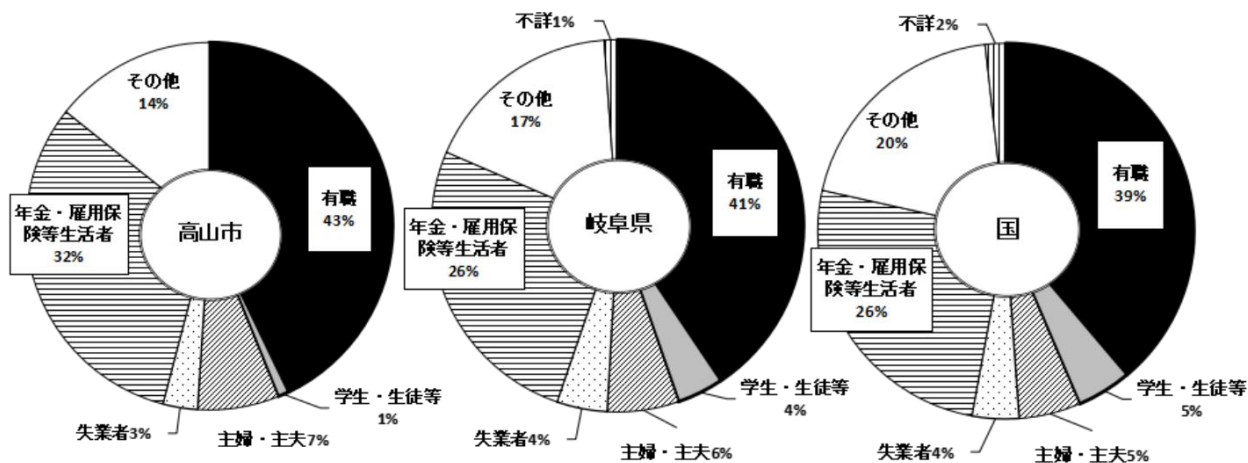
【図4 自殺者の同居人の有無（H31年～R5年計）】



資料：自殺統計

5. 職業の状況

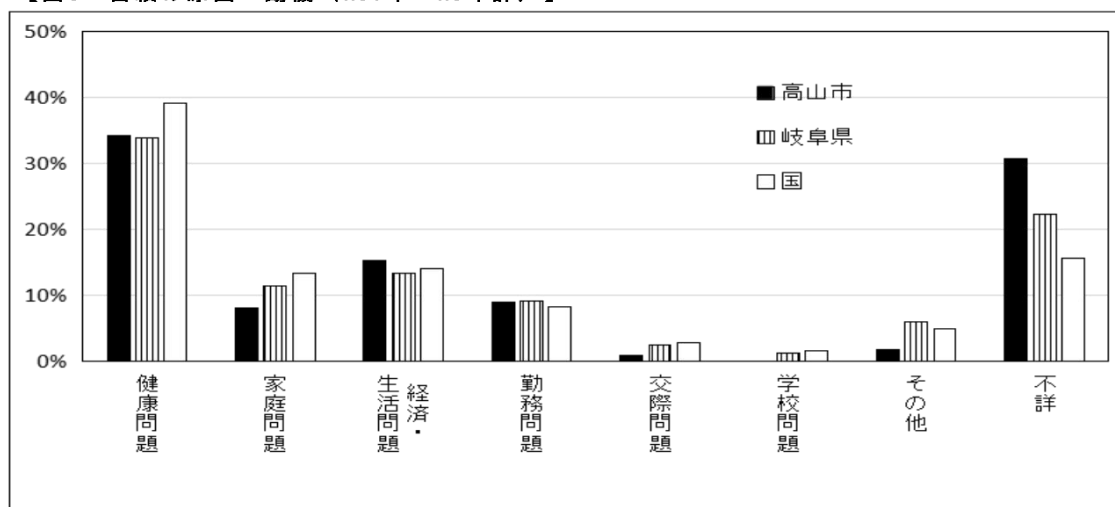
【図5 自殺者の職業の比較（H31年～R5年計）】



資料：自殺統計

6. 原因・動機の内訳

【図6 自殺の原因・動機（H31年～R5年計）】



資料：自殺統計